

## 日本語教師養成サブコース履修者へのアンケート調査（2022年3月）結果

### 1. 回答者

回答者数：5名（対象者7名）

回答率：71.43%

回答者の内訳：

- ①コース：言語コミュニケーション（3名）、外国語教育コンテンツ論コース（2名）
- ②属性：日本人学生（3名）、社会人学生（1名）、留学生（1名）

### 2. 質問紙の構成

履修前、履修中、履修後の3つのカテゴリーに分け、それぞれ大問4～5問、計14問（小問含め19問）から構成

### 3. 結果

#### 3-1. 履修前

**履修前1.** 大学院での専攻について、次の①と②にお答えください。

① 大学院での専攻（コース）は何ですか（選択）

1. 回答者の内訳参照

② 大学院でのあなたの専攻（研究テーマ）は、日本語教育と関係するものだと思いますか。関係すると思う場合は「はい」、そうでない場合は「いいえ」とお答えください（選択）

はい	2
いいえ	3

**履修前2.** 日本語教師養成サブコース履修前は、日本語教育に関してどのような経験がありましたか。（複数選択可）

項目	A 日本語教授	B 言語教授	C 日本語教育に関する学習	D 言語教育に関する学習	E 日本国内交流	F 海外交流	G 日本語学習	H 日本語学学習	I 特になし	J その他
回答数	1	3	1	2	3	3	1	2	0	0

**履修前 3.** 上記の2で、A・Cを選択しなかった人にお聞きします。日本語教師養成サブコース履修前は、日本語教育についてどのようなイメージ・考えを持っていましたか。自由に記述してください。

日本語教育を必要とする人は、実際にはそんなに多くはないと思っていた。学習者も、趣味の延長くらいの人たちが多いものだと思っていた。	母語である日本語を教えることは簡単だと思っていた。	自分にとって日本語は母語であるため、客観的に教えるのは難しそう、どのようなことが学習者にわかりにくいのか明確でない、日本語教育の問題点がはっきりしないなど
--	---------------------------	---

**履修前 4.** 日本語教師養成サブコースのことをどのようにして知りましたか（複数選択可）

項目	A オープンキャンパス	B ホームページ	C パンフレット	D 新入生ガイダンス	E 先輩や友人	F 研究科教員	G 研究科職員	H その他
回答数	2	1	1	1	1	1	0	0

**履修前 5.** 日本語教師養成サブコースを履修しようと思った理由は何ですか。自由に記述してください。

<p>学部生の頃、日本語教師養成のコースに該当する講義はあっても、時間割の都合上、教員免許取得のための講義とほぼ重なっていて、当時は日本語教師養成の講義を受けたくても受けられなかったから</p>	<p>せっかく大学院に進んだので、様々なことに挑戦してより多くのことを学びたいと思ったため。</p>	<p>自身が教員で、現場で日本語教育の必要性を感じる場面があったから</p>	<p>日本語は自分の母語であるため、知っているようで、十分には理解できていない点も多いと感じていた。そのため、日本語について様々な側面から詳しく学び、外国人の方によりわかりやすく指導できる知識と技術を身に付けたいと思い、履修を決めた。</p>	<p>日本語教師としての専門的な知識・技術を把握したいため</p>
---	--	--	---	-----------------------------------

### 3-2. 履修中

**履修中 1.** 日本語教師養成サブコースの科目の履修方法を理解するのは、難しかったですか（選択）

【例】 A-Dの領域別科目の選択や対象科目の選択など

選択肢	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない
回答数	0	2	1	2	0

**履修中 2.** 自分の専攻に関する学習（研究）と日本語教師養成サブコース履修科目に関する学習の両立は難しかったですか。次の①～③についてお答えください。（選択）

- ① 時間割の編成上、授業を取ることが難しかった
- ② サブコース履修科目の内容が専門外のため、自分の専攻に関する学習（研究）と両立することが難しかった
- ③ サブコース履修科目の課題が多く、自分の専攻に関する学習（研究）と両立することが難しかった

選択肢		とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない
回答数	①	0	1	0	3	1
	②	0	0	0	3	2
	③	0	0	0	3	2

**履修中 3.** 日本語教師養成サブコースの科目として履修した授業の内容や学習が、自分の専攻に関する学習（研究）や進路などに何か影響をしましたか。「はい」を選んだ人は、その理由を具体的にお書きください。

はい	5
いいえ	0

「はい」の理由

自分の研究が日本文法の知識を必要とするため、日本文法に関する講義で専門用語等を知ることが出来たことで、先行研究が調べやすくなったりした。	地域の外国人の現状を知ったり、やさしい日本語の存在を知ったことで、日本語教師に限らず、何かしらの形で地域に住む外国人の支援ができる仕事をしたいと考えるよう	私の研究対象言語は英語だが、日本人学習者が英語を効率的に学ぶための基準としての母語の構造を客観的に知ることができ、両言語の特徴を再発見したり、それらの特徴	日本語を教えるための指導アプローチは、日本語に限らず他の言語を指導する際にも今後役立つと思うため。	日本語の文法などの学習だけではなく、日本語教師としての日本語の教え方も勉強できました。
--	---	---	---	---

	になったため。	から効率的な英語学習についての考察に役立ちましたから。		
--	---------	-----------------------------	--	--

履修中 4. 日本語教師養成サブコースの科目を履修することで、どのような知識や能力などを身につけることができましたか。該当するものをお選びください。(複数選択可)

項目	A 対学 習者コミュ 能力	B 日本 語・言語 関心	C 日本 語・言語 鋭い感覚	D 国際 感覚・人 間性	E 専門 性・意義・ 情熱	F 言語 知識	G 言語 知識活用 能力	H 日本 語教授知 識	I 日本 語教授 知識活 用能力	J 背景 知識	K 背 景把握・ 分析	L その 他
回答数	3	5	5	2	3	3	4	5	2	4	2	0

履修中 5. 日本語教師養成サブコースの科目を履修中、日本語教育について思ったこと、感じたこと、気づいたことなどがありましたら、自由にお書きください。

一連の講義の中で「やさしい日本語」という存在を知り、またこれを社会的に普及させようとしているが、この「やさしい日本語」を講義で学べると更に良かったかもしれない。普通の日本語をやさしい日本語に変える方法や、どのようなときにやさしい日本語	日本語母語話者だから日本語を教えられるということは決してなく、特に考えることなく感覚で日本語を使っている母語話者だからこそ、日本語を教えるためには日本語について深く学ぶ必要があると感じた。	コースの中では、日本語教育の方法や背景など理論的、実践的に学ぶことができたが、学習者に対する評価やフィードバックの客観的指標などについてあまり取り扱われていない印象を受けた。学習者にとって自分の言語がどの程度客観的な到達度に達してい	日本語教師養成サブコースを履修したことで、日本語教育を専攻とする学生の皆さんにも出会うことができ、良い刺激を受けました。自分とは異なる専攻の学生と授業の中で、議論したり、共に活動をしたりする中で、新たな発見も多くありました。また、いつ
---	--	--	---

が求められるのかなど。		るかを知ることは重要であり、また、前もって学習者に評価の観点を明確に示しておくことはモチベーションの維持の観点からも必要なことなので、ぜひ取り入れていただけたらと感じた。	もとても丁寧に、わかりやすく指導してくださった日本語教師養成サブコースの先生方に心より感謝しております。
-------------	--	---	--

### 3-3. 履修後

**履修後 1.** 日本語教師養成サブコースを履修・修了してよかったですか（選択）。その理由を具体的にお書きください。

選択肢	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない
回答数	5	0	0	0	0

その理由

英語の教員免許を所有しているが、日本語教育の知識が英語教育にも応用できそうだと分かったこと。また英語における「Plain English (公用文や文章における分かりやすい言葉遣い)」に近似の、	日本語教育について学ぶ中で、自分自身の日本語の使い方などを客観的に見るができるようになったため。	母語を客観的に学ぶことができ、日本語学習者にとってどのようなことが困難かなど有益な視点を得ることができたから。	今後の人生の中で、コースの履修をとおして学んだことが様々な面で役立つと思うため。	自分の研究にも役に立ちました。
---	--	---	--	-----------------

「やさしい日本語」という概念を知れたこと。				
-----------------------	--	--	--	--

**履修後 2.** あなたの現在の状況について、次の①～③にお答えください。(選択)

① どこに住んでいますか

日本	5
日本以外の国	0

② 特定の教育機関(大学院など)において、日本語教育に関連する学習(研究)をしますか。

はい	0
いいえ	5

③ 日本語教育に関連する仕事(正規・非正規)をしますか。あるいはそのための準備中ですか。

はい	0
いいえ	5

**履修後 3.** 上記の③で「いいえ」と答えた人にお聞きします。将来、日本語教師養成サブコースで学んだことを活かしたいですか。※「はい」を選んだ人は、その理由を具体的にお書きください

はい	5
いいえ	0
わからない	0

<p>仮に英語の教員になって、日本語の支援が必要な児童生徒に対応することになった際に、どのような支援をすれば良いかの知識が得られたから。また、国外で日本語教育の仕事に携わるという将来選択もありだと思ったから。</p>	<p>私は地元の商工会議所に就職するため、地元で働きたいと考えている外国人のサポートや、外国人を雇用したいと考えている企業の方のサポートなどを積極的にしていきたいと考えているため。</p>	<p>4月からは教育現場へ復帰し、日本語教育を必要とする生徒がいる場合には活用できるから。</p>	<p>高等学校において、外国人の生徒数も増加傾向にあるため、今回学んだ知識を現場でも共有し、生かせればと思う。</p>	<p>将来、今まで教えていただいたいろいろな教授法を活用できる教師になりたいです。</p>
--	--	---	---	---

**履修後 4.** 日本語教師養成サブコースについて、ご意見がありましたら、自由に記述してください。履修前、履修中、履修後、どの段階でも構いません。

<p>初めはとりあえずやってみようと思って履修を決めましたが、様々な授業を通して自分自身がどれほど適当に日本語を使用しているのかを痛感すると共に、日本語の奥深さや日本語教育が抱えている問題点などを学ぶことができ、本当に貴重な経験ができました。</p>	<p>高等学校の教員などが大学院に進学した場合は、大学院進学条件として専修免許の取得を条件とされている事が多いので、そちらを優先するために日本語教師サブコースの取得まで手が回らないという話を何度か聞いた。既に教員であったり、教員を目指す学生は比較的このコースに興味を持っている学生は多いが、専修免許取得のために必要な授業と、このコースの修了するのに必要な授業の重複が少ないためこのような選択をする学生が多いのだと思う。魅力的なコースであるので、専修免許状のための授業との重複をもう少し増やすなどの工夫ができれば、履修者がもっと増えそうな気がする。</p>
---	---

